



【公印省略】

22保予第265-10号
平成22年7月5日

(社団法人) 小郡三井医師会
会長 蒲池 壽 様

久留米市保健所長 篠島 健一
(保健予防課)

平成22年度自殺対策事業(うつ病対策講演会)の後援について(依頼)

盛夏の候、貴職におかれましてはますます御清栄の事とお慶び申し上げます。

また、日頃より精神保健福祉行政の推進につきまして、格別の御高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当所では自殺対策の一環として、うつ病の正しい知識の普及を図ることを目的として下記のとおり講演会を開催いたします。

つきましては、精神保健福祉の向上に重要な役割を担っております貴医師会に、御理解のうえ御後援を賜りたいと考えております。何卒、よろしくお願い申し上げます。

なお、御承諾の上は、別添承諾書又は貴医師会の所定承諾書を久留米市保健所長あて、7月23日(金)までに御送付くださいますよう併せてお願い申し上げます

記

1 一般向けうつ病対策講演会

日 時：平成22年9月23日(祝) 14時～16時

場 所：久留米大学筑水会館

定 員：300名

対象者：一般市民及び関係機関

2 職域向けうつ病対策講演会

日 時：平成22年10月15日(金) 14時30分～16時30分

場 所：久留米リサーチセンタービル研修室A

定 員：150名

対象者：企業及び事業所の経営者又は人事労務担当者、その他関係機関

※詳細内容については別添事業計画・事業収支予算書等参照

〒830-0022
久留米市城南町15番地5(久留米商工会館4階)
久留米市保健所 保健予防課
(担当：渋谷)
TEL：0942-30-9738
FAX：0942-30-9833

事業計画・事業収支予算書

(社団法人) 小郡三井医師会
会長 蒲池 壽 様

久留米市保健所長 篠島 健一
(保健予防課)

次の事業について、(社団法人) 小郡三井医師会の後援を受けたいので関係書類を添えて申請します。

事業名	平成22年度自殺対策事業（市民向けうつ病対策講演会）
実施主体	久留米市
後援・協賛・推薦団体等	福岡県、（社）福岡県精神科病院協会、福岡県精神神経科診療所協会、福岡県精神保健福祉協会、福岡県地域精神保健協議会、福岡県精神保健福祉士協会、（社）久留米医師会、（社）浮羽医師会、（社）小郡三井医師会、（社）大川三瀦医師会、（社）久留米広域勤労者福祉サービスセンター
事業背景	平成10年から年間自殺者数が3万人を超える中、当市においても年間自殺者が60～80名で推移している自殺企図者の75%に何らかの精神疾患が認められ、その約半数がうつ病等を有しているが、うつ病等精神疾患を有する者の4人に3人は医療機関を受診しておらず、適切な治療を受けていないことも報告されている。 うつ病の症状のうち睡眠障害は約90%を占め、自覚しやすく医療機関へも繋がりがやすいと報告されている。また、うつ症状を呈する患者の初診診療科の約64%は内科であり、精神科、心療内科を受診している患者は約9%程度で、患者も身体的な不調の訴えから内科を受診している傾向にある。こういったことから、身体症状から、特に不眠からのうつ病、メンタルヘルス意識向上が重要なポイントとなっている。
事業目的	「不眠」という、うつ病で最も自覚しやすい症状から、うつ病への正しい知識と気づきを促し、市民のメンタルヘルス意識の向上を図ること、及び市民一人ひとりが自殺対策におけるゲートキーパーとして、地域に根ざした活動へと展開していくための動機付けを目的として実施する。
日時	平成22年9月23日（祝）14時～16時
内容	演題：「眠れていますか？～うつ病は2週間続く不眠から～」（案） 講師：静岡県精神保健福祉センター所長 松本晃明氏 座長：内村直尚氏（久留米大学医学部精神神経科学教室教授）
会場	久留米大学筑水会館（福岡県久留米市旭町67番地）
入場料	無料（事前申し込みあり）
その他（対象者）	一般市民及び関係機関職員等（定員300名）

【事業内訳】

費目	予算額	計算基礎（明細）
報償費（謝金）	¥ 75,600	講師謝金（@9,450円×4時間×2名）
費用弁償	¥ 86,000	（久留米市⇄静岡県静岡市）（日当含む）
印刷製本費	¥ 140,000	講演会チラシ及びポスター
使用料及び賃借料	¥ 49,000	会場使用料、空調費、その他備品等
食糧費	¥ 4,250	講師弁当代（@1,000円×2）（外税） 講師等飲料水（@150円×15）
賃金	¥ 14,560	一時保育のための保育士賃金（@910円×4人×4時間）
合計	¥ 369,454	

(案)

うつ病対策講演会

平成10年から自殺者が3万人を超えており大きな社会問題となっています。自殺に至る原因は様々ですが、その原因の多くに『うつ病』が関連し、うつ病等をもつ方の4人のうち3人は医療機関を受診していないことも報告されています。また、うつ病で受診される方の約90%が不眠、睡眠障害を自覚しているとも報告されています。
今回は不眠、睡眠障害を切り口とし、うつ病の理解と対処方法についての講演を行います。

講師写真貼付欄

【市長からのメッセージ】

久留米市では、毎年60人～80人の方が自殺で亡くなっております。そのような社会状況の中、「人」「安心」「活力」をキーワードに、“自殺のないまち”を目指して、全庁的に早急な対応を進めているところです。自殺は個人の問題ではなく社会の問題であるという認識のもと、誰もが安心できるまちづくりに向けて、市民の皆様と一丸となって取り組みを進めていきたいと思っています。
この講演会は、ご参加の皆様にとって大変有意義なものとなることと思います。皆様のご参加をお待ちしています。

座 長：久留米大学医学部精神神経科学教室
教授 内村 直尚（うちむら なおひさ）先生

●講演「眠れていますか？～うつ病は2週間続く不眠から～」
講 師：静岡県精神保健福祉センター
所長 松本 晃明（まつもと てるあき）先生

開催日時：平成22年9月23日（木・祝）14：00～16：00

場 所：久留米大学筑水会館（久留米市旭町67）（定員300名）
※駐車場には限りがございます。できる限り公共交通機関をご利用ください。
（駐車場は有料になります）

参加費：無料

申し込み：電話、ファックス、メールにてお申込みください

締め切り：平成22年9月10日（金）（先着順になります。）

その他：手話通訳あり 要約筆記あり
託児あり（予約が必要になります。申し込みの際にお申し出下さい。）

【申し込み・問合せ先】

久留米市保健所保健予防課（久留米市城南町15番地5）
TEL：0942-30-9728
FAX：0942-30-9833
Mail：ho-yobou@city.kurume.fukuoka.jp

主催
後援

久留米市

福岡県

（社団法人）福岡県精神科病院協会 福岡県精神神経科診療所協会

福岡県精神保健福祉協会 福岡県地域精神保健協議会 福岡県精神保健福祉士協会

（社団法人）久留米医師会 （社団法人）浮羽医師会 （社団法人）小郡三井医師会 （社団法人）大川三瀧医師会

（社団法人）久留米広域勤労者福祉サービスセンター

事業計画・事業収支予算書

(社団法人) 小郡三井医師会
会長 蒲池 壽 様

久留米市保健所長 箴島 健一
(保健予防課)

次の事業について、(社団法人) 小郡三井医師会の後援を受けたいので関係書類を添えて申請します。

事業名	平成22年度自殺対策事業（職域向けうつ病対策講演会）
実施主体	久留米市
共催	久留米市雇用問題協議会
後援・協賛・推薦団体等	福岡県、（社）福岡県精神科病院協会、福岡県精神神経科診療所協会、福岡県精神保健福祉協会、福岡県地域精神保健協議会、福岡県精神保健福祉士協会、（社）久留米医師会、（社）浮羽医師会、（社）小郡三井医師会、（社）大川三猪医師会、（社）久留米広域勤労者福祉サービスセンター
事業背景	平成10年から、年間の自殺者数が3万人を超える中、警察庁の自殺概要資料（平成21年）によれば、50歳代の自殺者数は6,491人で、自殺者全体の約20%を占め、また人口10万対自殺率は全体の38.5と高値で推移するなど働き盛りの自殺者が大きな問題となっている。また無職者に次いで、被雇用者・勤め人の自殺者が多い現状である。久留米市においても、年間60～80名の自殺者数が報告され、無職者に次いで被雇用者・勤め人の自殺者が多い状況であり、近年の経済状況・雇用状況からも働き盛りの自殺者の増加が懸念されている。 うつ病の症状のうち睡眠障害は約90%を占め、自覚しやすく医療機関へも繋がりがやすいと報告されており、職場におけるメンタルヘルス対策としても、不眠からのうつ病、メンタルヘルス意識向上が重要なポイントとなっている。 当市における職域での自殺対策事業の取り組みとしては、職域でのメンタルヘルスに関する課題を明らかにし、対策について検討することを目的として労働関係団体で構成された職域メンタルヘルス連絡会議や、自殺予防週間や3月の決算期において、中高年層を対象としたキャンペーン等を実施している。
事業目的	「不眠」という、うつ病で最も自覚しやすい症状から、うつ病への正しい知識と気づきを促し、職域におけるメンタルヘルスの維持・向上を図ることを目的とする。
日時	平成22年10月15日（金）14時30分～16時30分
内容	演題：「働き盛りのメンタルヘルスについて～睡眠を切り口にした職場での実践について～」（案） 講師：内村直尚氏（久留米大学医学部精神神経科学教室教授）
会場	久留米リサーチセンタービル研修室A（定員150名）
入場料	無料
その他（対象者）	企業及び事業所の経営者又は人事労務担当者（定員150名）

【事業内訳】

費目	予算額	計算基礎（明細）
報償費（謝金）	¥ 28,350	講師謝金（@9,450円×3時間）
印刷製本費	¥ 140,000	講演会チラシ、ポスター
使用料及び賃借料	¥ 37,630	会場使用料、空調費、備品等
食糧費	¥ 2,500	講師弁当代（@1,000円×1）（外税） 講師等飲料水（@100円×15）
合計	¥ 208,480	

うつ病対策講演会

平成10年から自殺者が3万人を超えており、大きな社会問題となっていますが、自殺者の多くに「うつ病」が関連し、うつ病等をもつ方の4人のうち3人は医療機関を受診していないことも報告されています。

また、50歳代の自殺者が全体の20%と高く、働き盛りの自殺が大きな問題となっています。

最近よく眠れない、食欲がない、気分が晴れない、楽しみが見出せない・・・職場の中に自分の体調に不安を感じている職員はいませんか？また、そのような職員に対して、どのように職場支援を行っていいのか悩んでいる上司の方はいませんか？

今回は職場でのメンタルヘルスについて、精神科の医師を迎えて講演会を開催します。多くの方々のご参加をお待ちしております。

写真貼付欄

講演「働き盛りのメンタルヘルスについて ～睡眠を切り口にした職場での実践について～」

講師：久留米大学医学部精神神経科学教室
教授 内村 直尚（うちむら なおひさ）先生

開催日時：平成22年10月15日（金）14：30～16：30

場 所：久留米リサーチセンタービル研修室A（久留米市百年公園1番1号）（定員150名）

対 象 者：企業及び事業所の経営者または人事労務担当者など

参 加 費：無料

申し込み：電話、ファックス、メールにてお申込みください

締め切り：平成22年10月8日（金）（先着順になります。）

そ の 他：手話通訳あり（事前にお申し出ください）

【申し込み・問合せ先】

久留米市保健所保健予防課（久留米市城南町15番地5）

TEL：0942-30-9728

FAX：0942-30-9833

Mail：ho-yobou@city.kurume.fukuoka.jp

主催
共催
後援

久留米市

久留米市雇用問題協議会

福岡県

（社団法人）福岡県精神科病院協会

福岡県精神神経科診療所協会

福岡県精神保健福祉協会

福岡県地域精神保健協議会

福岡県精神保健福祉士協会

（社団法人）久留米医師会

（社団法人）浮羽医師会

（社団法人）小郡三井医師会

（社団法人）大川三瀧医師会

（社団法人）久留米広域勤労者福祉サービスセンター

承 諾 書

下記の平成22年度自殺対策事業（うつ病対策講演会）について、後援名義の使用を承諾します。

記

1 一般向けうつ病対策講演会

開催日時：平成22年9月23日（祝）14時～16時

開催場所：久留米大学筑水会館

2 職域向けうつ病対策講演会

開催日時：平成22年10月15日（金）14時30分～16時30分

開催場所：久留米リサーチセンタービル研修室A

平成22年 月 日

団体名

代表者名

印

久留米市長 榎原 利則 殿